

関数

$$f(x) = \frac{x^2}{1 + e^x}$$

について,

$$g(x) = f(x) + f(-x), \quad h(x) = f(x) - f(-x)$$

とおく. 以下の問いに答えよ. ただし, e は自然対数の底である.

(1) 定積分

$$\int_{-1}^1 g(x) dx$$

の値を求めよ.

(2) $h(x)$ は奇関数であることを示せ.

(3) 定積分

$$\int_{-1}^1 f(x) dx$$

の値を求めよ.

(23 愛知教大 5)

【答】

- (1) $\frac{2}{3}$
 (2) 略
 (3) $\frac{1}{3}$

【解答】

$$f(x) = \frac{x^2}{1 + e^x},$$

$$g(x) = f(x) + f(-x),$$

$$h(x) = f(x) - f(-x)$$

(1) $g(x)$ を整理すると

$$\begin{aligned} g(x) &= f(x) + f(-x) = \frac{x^2}{1 + e^x} + \frac{(-x)^2}{1 + e^{-x}} \\ &= \frac{x^2}{1 + e^x} + \frac{x^2 e^x}{e^x + 1} = \frac{x^2(1 + e^x)}{1 + e^x} \\ &= x^2 \end{aligned}$$

である. $g(x)$ が偶関数であることに注意すると

$$\int_{-1}^1 g(x) dx = \int_{-1}^1 x^2 dx = 2 \int_0^1 x^2 dx = 2 \left[\frac{x^3}{3} \right]_0^1 = \frac{2}{3} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である.

(2) $h(-x) = -h(x)$ を示せばよい.

$$\begin{aligned} h(-x) &= f(-x) - f(-(-x)) = f(-x) - f(x) \\ &= -\{f(x) - f(-x)\} \\ &= -h(x) \end{aligned}$$

であり, $h(x)$ は奇関数である.

$\dots\dots$ (証明終わり)

(3) $f(x)$ を $g(x)$, $h(x)$ で表し, (1), (2) の利用を考える.

$$g(x) + h(x) = 2f(x)$$

が成り立つから

$$\begin{aligned}\int_{-1}^1 f(x) dx &= \frac{1}{2} \int_{-1}^1 \{g(x) + h(x)\} dx \\ &= \frac{1}{2} \left(\frac{2}{3} + 0 \right) \quad (\because (1), (2)) \\ &= \frac{1}{3}\end{aligned}$$

……(答)

である.